

# そよかぜ

## ふれあい看護体験・職場体験 平成30年8月1日

ふれあい看護体験・中学生職場体験を平成30年8月1日に開催しました。猛暑が続く中、今年も県内の高校1〜3年生20名、市内中学2年生11名の参加がありました。施設見学と看護師の仕事体験してもらっただけでなく、医師や他職種の仕事も見学してもらいました。中学生の職場体験では、医療現場で働く職業の選択の場を提供し、進路決定一助になったのではないかと思います。



### 体験後のアンケート

・指導医師のように明るく仕事も頑張れる救急救命医になりたいです。  
・いろいろな職種があると知りました。仕事は違うけど協力し合っていると感じました。

・普段体験できないことができました。手術室に入り、初めて見る機械に驚きました。

・看護師さん同士の仲が良く、責任のある中で仕事もしっかり楽しみながら働いている気がしました。とても明るく良い病院だと思いました。



午前と午後で体験場所を変え、少しでも多くのスタッフと関わりを持ってもらいました。給食室ではご飯の計量やとろみのつけ方を見学し、薬剤部では模擬調剤を行いました。放射線室では、放射線の説明を受け3D画像を見学し、検査室では実際の標本を見てももらいました。診療放射線技師や臨床検査技師という職業に興味を持ったと話す学生さんもいらっしゃいました。病棟では、患者さんと会話をし、手浴や足浴で触れ合っ

もらいました。また、車椅子やストレッチャーに乗車して、患者さんの疑似体験してもらいました。救急医療に対しては人体模型を使って心臓マッサージの体験やBLS・AEDの説明を医師から受け、模擬を使つて皮膚縫合の練習をする機会もありました。真剣な様子で本物の医療機器に触れている様子がとても印象的でした。



患者さんや家族が羽島市民病院に受診された時、不安な気持ちや苦痛が少しでも軽減できるよう。また、快適な入院生活をおくってもらい、退院してからの事までも考えることが出来るよう多職種でチーム医療を行っている姿を見て頂けたと思います。

羽島市民病院は患者さんを中心に家族様に寄り添い「チームでの医療と看護」を提供していきます。ふれあいプロジェクト委員会は、看護体験・職場体験の中で一人でも多くの学生さんが「この病院と一緒に働きたい」と言う気持ちを持てるようになってもらえたら、嬉しく思います。

ふれあいプロジェクト委員会  
看護師 竹内 ともみ